

第134回

トラック運送業界の景況感（速報）

令和8年4月～6月期

2026年6月の日銀短観では、大企業製造業の業況判断D I は+22%ポイント（前回比+5%ポイント）となった。原油高により窯業・土石製品などは悪化したものの、素材業種・加工業種がともに4ポイント改善し、円安も下支えとなった。

トラック運送業界においては、今期、中東情勢悪化に伴う原油高の影響等がマイナス要因として作用したものの、運賃・料金水準の改善による経常損益、営業利益の持ち直しを背景に、景況感は前回▲29.4から▲28.9へ0.5ポイント改善した。

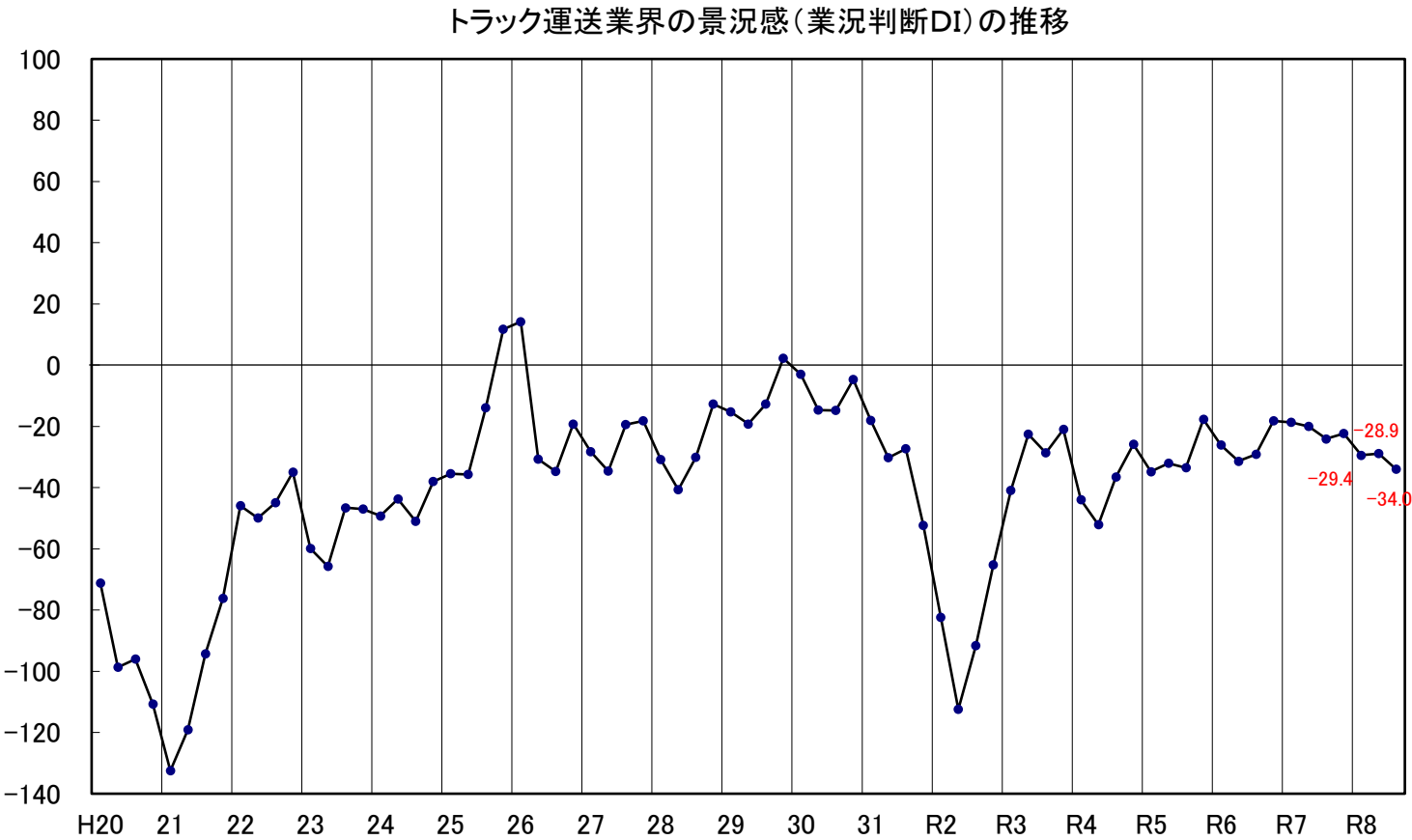
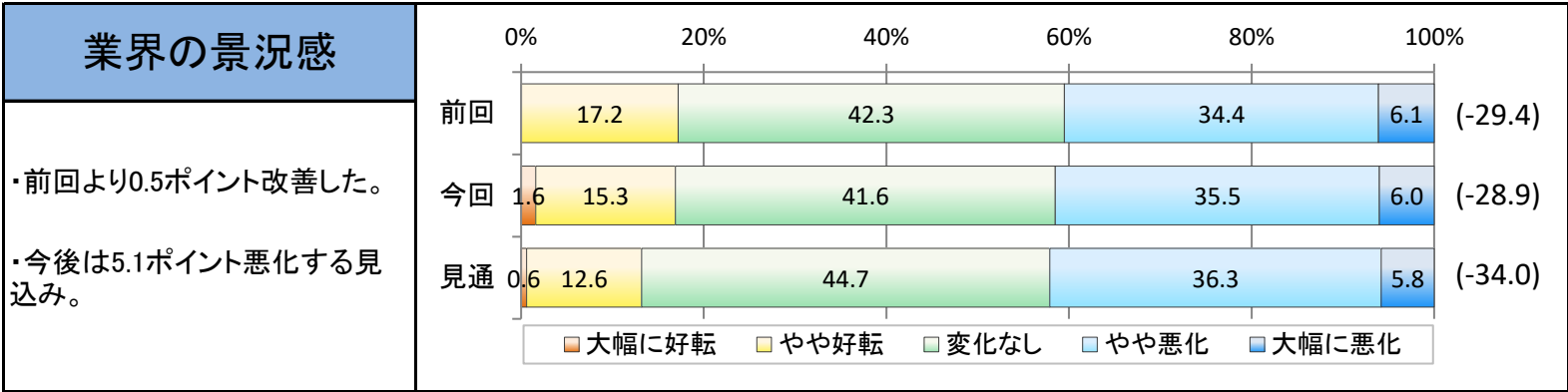
なお、来期の見通しは、輸送数量の減少に加え、原油高に伴う燃料価格高騰への懸念や運賃・料金水準の頭打ちを織り込み、景況感は今回▲28.9から▲34.0へ5.1ポイント悪化する見込みである。

令和8年8月19日

公益社団法人 全日本トラック協会

1 業界の景況感：今回（令和8年4月～6月期）の概況と今後の見通し

今回の状況	・今期、中東情勢悪化に伴う原油高の影響等がマイナス要因として作用したものの、運賃・料金水準の改善による経常損益、営業利益の持ち直しを背景に、景況感は前回▲29.4から▲28.9へ0.5ポイント改善した。
今後の見通し	・来期の見通しは、輸送数量の減少に加え、原油高に伴う燃料価格高騰への懸念や運賃・料金水準の頭打ちを織り込み、景況感は今回▲28.9から▲34.0へ5.1ポイント悪化する見込みである。



(注1) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の上段は前回(R8.1月～3月期)の状況、中段は今回(R8.4月～6月期)の状況、下段は今後(R8.7月～9月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比の回答である。

(注2) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) 各グラフ(3段の横棒グラフ)右側にあるカッコ内は判断指数。各判断指数は、各設問の回答に対し、「大幅に増加・上昇・好転、労働力不足」は+2、「やや増加・上昇・好転、労働力不足」は+1、「横ばい」は0、「やや減少・低下・悪化、労働力過剰」は-1、「大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰」は-2の点数に置き換え、平均を100倍することにより各判断指数を算出している。

A(設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5 (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = {(+2×a1) + (+1×a2) + (0×a3) + (-1×a4) + (-2×a5)} ÷ A × 100

2 共通の概況①: 今回(令和8年4月～6月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	・ 実働率は▲4.1(前回▲7.1)と3.0ポイント改善、実車率は▲8.2(前回▲9.8)と1.6ポイント改善し、輸送効率が向上した。 ・ 運転者の採用動向は5.4(前回▲1.5)と6.9ポイント上昇、運転者の雇用動向(労働力の不足感)は89.9(前回88.0)と1.9ポイント上昇した(不足感が強くなった)。
今後の見通し	・ 実働率は▲17.1(今回▲4.1)と13.0ポイント悪化、実車率は▲13.6(今回▲8.2)と5.4ポイント悪化する見込みである。 ・ 運転者の採用動向は▲3.9(今回5.4)と9.3ポイント低下し、運転者の雇用動向は93.8(今回89.9)と3.9ポイント上昇し、労働力の不足感は強くなる見込みである。

実働率 ・前回より3.0ポイント改善した。 ・今後は13.0ポイント悪化する見込み。	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 18.7 57.4 22.1 1.8 (-7.1) 今回 24.5 48.7 22.5 3.7 (-4.1) 見通 16.3 56.5 21.0 6.2 (-17.1) ■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや低下 ■ 大幅に低下
実車率 ・前回より1.6ポイント改善した。 ・今後は5.4ポイント悪化する見込み。	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 16.0 59.5 23.3 1.2 (-9.8) 今回 21.6 52.6 21.6 4.1 (-8.2) 見通 14.2 60.8 21.2 3.5 (-13.6) ■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや低下 ■ 大幅に低下
運転者の採用動向 ・前回より6.9ポイント上昇した。 ・今後は9.3ポイント低下する見込み。	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 20.9 59.8 13.8 4.9 (-1.5) 今回 27.2 53.2 14.8 4.1 (5.4) 見通 15.7 65.2 13.0 4.7 (-3.9) ■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 変わらない ■ やや減少 ■ 大幅に減少
運転者の雇用動向 (労働力の不足感) ・前回より1.9ポイント上昇した(不足感が強くなった)。 ・今後は3.9ポイント上昇する見込み。	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 21.5 45.7 32.2 0.6 (88.0) 今回 22.5 47.8 26.8 2.9 (89.9) 見通 23.9 48.7 24.7 2.7 (93.8) ■ 不足 ■ やや不足 ■ 適当 ■ やや過剰 ■ 過剰

(注4) 雇用状況については、上段は前回(R8.1月～3月期)の状況、中段は今回(R8.4月～6月期)の状況、下段は今後(R8.7月～9月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

3 共通の概況②: 今回(令和8年4月～6月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	- 所定外労働時間は▲16.7(前回▲25.8)と9.1ポイント増加、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲6.6(前回▲10.4)と3.8ポイント増加した。 - 経常損益は▲7.0(前回▲20.2)と13.2ポイント改善した。
今後の見通し	- 所定外労働時間は▲21.4(今回▲16.7)と4.7ポイント減少し、貨物の再委託は▲12.4(今回▲6.6)と5.8ポイント減少する見込みである。 - 経常損益は▲26.6(今回▲7.0)と19.6ポイント悪化する見込みである。

所定外労働時間	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 0.6 7.7 60.1 28.5 3.1 (-25.8) 今回 0.8 14.8 57.1 21.2 6.0 (-16.7) 見通 0.8 9.5 63.9 19.0 6.8 (-21.4) ■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少
貨物の再委託 (下請運送会社への委託割合)	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 1.2 15.3 58.9 20.9 3.7 (-10.4) 今回 1.2 20.6 53.6 19.4 5.2 (-6.6) 見通 1.0 18.4 53.6 21.2 5.8 (-12.4) ■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 変わらない ■ やや減少 ■ 大幅に減少
経常損益	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 24.5 38.0 30.1 7.4 (-20.2) 今回 1.9 24.7 43.1 25.2 5.2 (-7.0) 見通 0.6 13.0 51.3 29.3 5.8 (-26.6) ■ 大幅に好転 ■ やや好転 ■ 変化なし ■ やや悪化 ■ 大幅に悪化

【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第134回調査は、令和8年7月1日に、モニターに対して調査開始、令和8年7月31日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
52	455	485

4 一般貨物：今回（令和8年4月～6月期）の状況と今後の見通し

今回の状況	- 一般貨物では、輸送数量は▲13.6（前回▲19.6）と6.0ポイント改善、運賃・料金の水準は32.7（前回24.1）と8.6ポイント改善し、営業収入（売上高）は4.0（前回▲11.4）と15.4ポイント改善した。 - 営業利益は▲11.6（前回▲27.2）と15.6ポイント改善した。
今後の見通し	- 一般貨物では、輸送数量は▲26.6（今回▲13.6）と13.0ポイント悪化、運賃・料金の水準は24.0（今回32.7）と8.7ポイント悪化することから、営業収入（売上高）は▲14.5（今回4.0）と18.5ポイント悪化する見込みである。 - 営業利益は▲27.9（今回▲11.6）と16.3ポイント悪化する見込みである。

輸送数量																			
・前回より6.0ポイント改善した。 ・今後は13.0ポイント悪化する見込み。	0%20%40%60%80%100% 前回 今回 見通 大幅に増加 やや増加 横ばい やや減少 大幅に減少 <table><tr><td>20.3</td><td>44.3</td><td>31.0</td><td>4.4</td><td>(-19.6)</td></tr><tr><td>2.6</td><td>24.8</td><td>34.1</td><td>33.2</td><td>5.3</td><td>(-13.6)</td></tr><tr><td>0.7</td><td>17.8</td><td>42.9</td><td>31.6</td><td>7.0</td><td>(-26.6)</td></tr></table>	20.3	44.3	31.0	4.4	(-19.6)	2.6	24.8	34.1	33.2	5.3	(-13.6)	0.7	17.8	42.9	31.6	7.0	(-26.6)	
20.3	44.3	31.0	4.4	(-19.6)															
2.6	24.8	34.1	33.2	5.3	(-13.6)														
0.7	17.8	42.9	31.6	7.0	(-26.6)														
運賃・料金の水準																			
・前回より8.6ポイント改善した。 ・今後は8.7ポイント悪化する見込み。	0%20%40%60%80%100% 前回 今回 見通 大幅に上昇 やや上昇 横ばい やや下落 大幅に下落 <table><tr><td>36.1</td><td>53.2</td><td>9.5</td><td>1.3</td><td>(24.1)</td></tr><tr><td>44.0</td><td>46.4</td><td>8.1</td><td>1.5</td><td>(32.7)</td></tr><tr><td>36.0</td><td>54.9</td><td>5.9</td><td>3.1</td><td>(24.0)</td></tr></table>	36.1	53.2	9.5	1.3	(24.1)	44.0	46.4	8.1	1.5	(32.7)	36.0	54.9	5.9	3.1	(24.0)			
36.1	53.2	9.5	1.3	(24.1)															
44.0	46.4	8.1	1.5	(32.7)															
36.0	54.9	5.9	3.1	(24.0)															
営業収入(売上高)																			
・前回より15.4ポイント改善した。 ・今後は18.5ポイント悪化する見込み。	0%20%40%60%80%100% 前回 今回 見通 大幅に増加 やや増加 横ばい やや減少 大幅に減少 <table><tr><td>0.6</td><td>25.3</td><td>41.1</td><td>27.8</td><td>5.1</td><td>(-11.4)</td></tr><tr><td>3.3</td><td>30.8</td><td>35.6</td><td>27.3</td><td>3.1</td><td>(4.0)</td></tr><tr><td></td><td>21.3</td><td>48.1</td><td>25.3</td><td>5.3</td><td>(-14.5)</td></tr></table>	0.6	25.3	41.1	27.8	5.1	(-11.4)	3.3	30.8	35.6	27.3	3.1	(4.0)		21.3	48.1	25.3	5.3	(-14.5)
0.6	25.3	41.1	27.8	5.1	(-11.4)														
3.3	30.8	35.6	27.3	3.1	(4.0)														
	21.3	48.1	25.3	5.3	(-14.5)														
営業利益																			
・前回より15.6ポイント改善した。 ・今後は16.3ポイント悪化する見込み。	0%20%40%60%80%100% 前回 今回 見通 大幅に増加 やや増加 横ばい やや減少 大幅に減少 <table><tr><td>19.0</td><td>43.0</td><td>29.7</td><td>8.2</td><td>(-27.2)</td></tr><tr><td>3.3</td><td>22.6</td><td>40.2</td><td>26.8</td><td>7.0</td><td>(-11.6)</td></tr><tr><td>0.7</td><td>13.4</td><td>51.0</td><td>27.3</td><td>7.7</td><td>(-27.9)</td></tr></table>	19.0	43.0	29.7	8.2	(-27.2)	3.3	22.6	40.2	26.8	7.0	(-11.6)	0.7	13.4	51.0	27.3	7.7	(-27.9)	
19.0	43.0	29.7	8.2	(-27.2)															
3.3	22.6	40.2	26.8	7.0	(-11.6)														
0.7	13.4	51.0	27.3	7.7	(-27.9)														

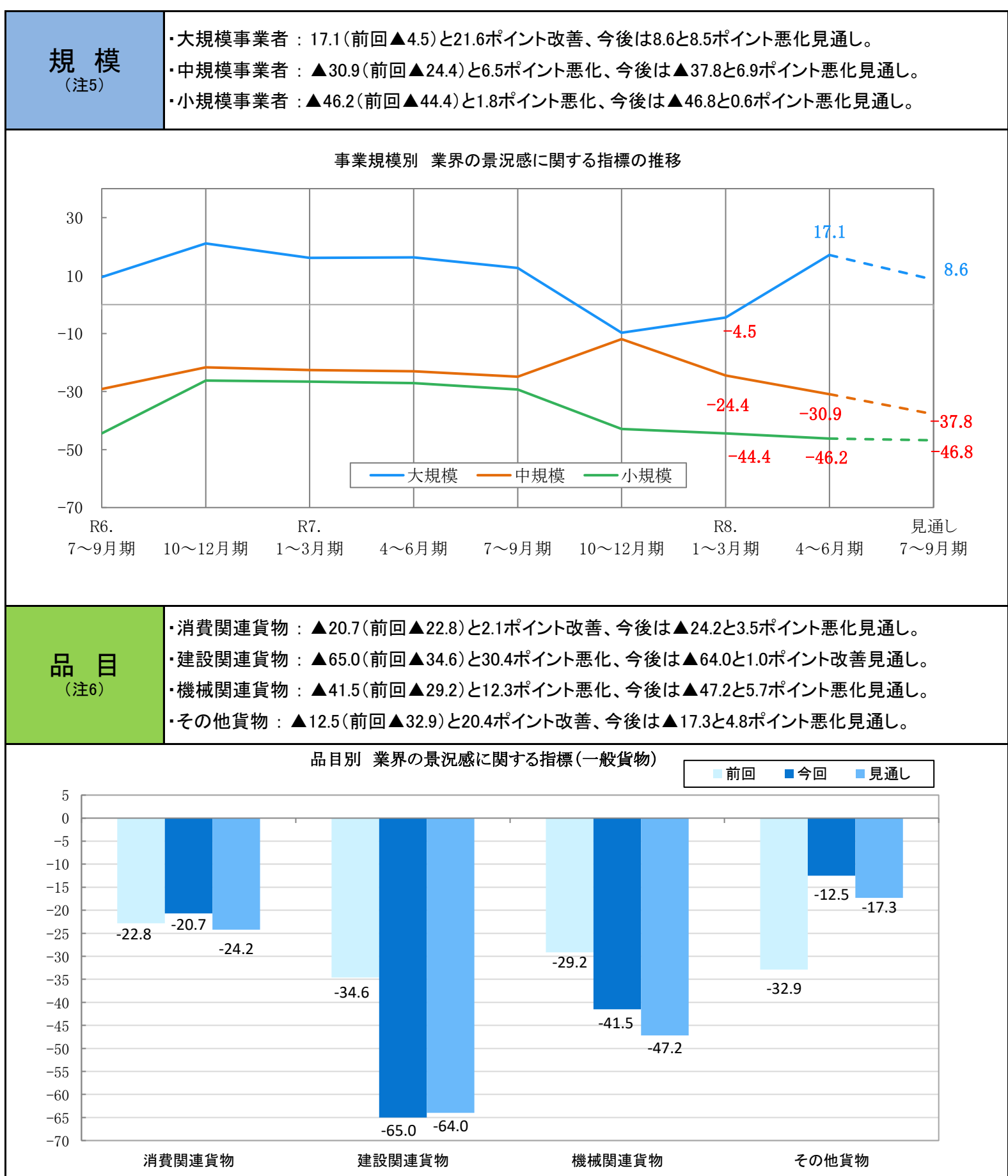
5 特積貨物：今回（令和8年4月～6月期）の状況と今後の見通し

今回の状況	- 特積貨物では、運賃・料金の水準は40.4（前回50.0）と9.6ポイント悪化したものの、輸送数量は9.6（前回▲21.4）と31.0ポイント改善し、営業収入（売上高）は17.3（前回7.1）と10.2ポイント改善した。 - 営業利益は9.6（前回▲7.1）と16.7ポイント改善した。
今後の見通し	- 特積貨物では、輸送数量は▲17.3（今回9.6）と26.9ポイント悪化、運賃・料金の水準は25.0（今回40.4）と15.4ポイント悪化することから、営業収入（売上高）は5.8（今回17.3）と11.5ポイント悪化する見込みである。 - 営業利益は5.8（今回9.6）と3.8ポイント悪化する見込みである。

輸送数量	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 14.3 50.0 35.7 (-21.4) 今回 28.8 51.9 19.2 (9.6) 見通 11.5 63.5 21.2 3.8 (-17.3) ■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少
運賃・料金の水準	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 50.0 50.0 (50.0) 今回 42.3 55.8 1.9 (40.4) 見通 28.8 67.3 3.8 (25.0) ■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや下落 ■ 大幅に下落
営業収入（売上高）	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 28.6 50.0 21.4 (7.1) 今回 5.8 19.2 61.5 13.5 (17.3) 見通 1.9 26.9 51.9 13.5 5.8 (5.8) ■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少
営業利益	0% 20% 40% 60% 80% 100% 前回 7.1 14.3 50.0 21.4 7.1 (-7.1) 今回 3.8 23.1 53.8 17.3 1.9 (9.6) 見通 1.9 25.0 55.8 11.5 5.8 (5.8) ■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少

※特積貨物の指数は、「宅配貨物」及び「宅配以外の貨物」の各指数を統合

6 事業者特性別の特徴①:規模別・品目別 業界の景況感

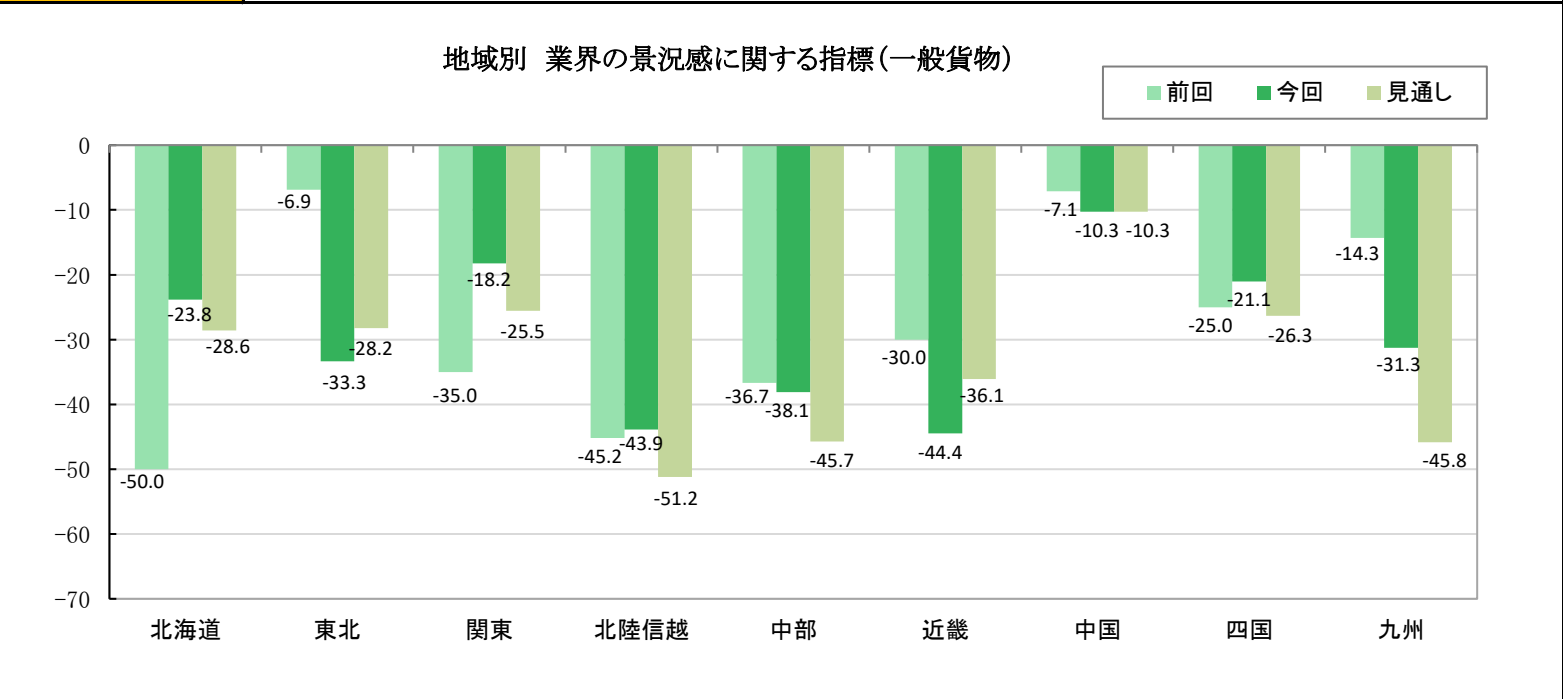


(注5) 規模別分類
 大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

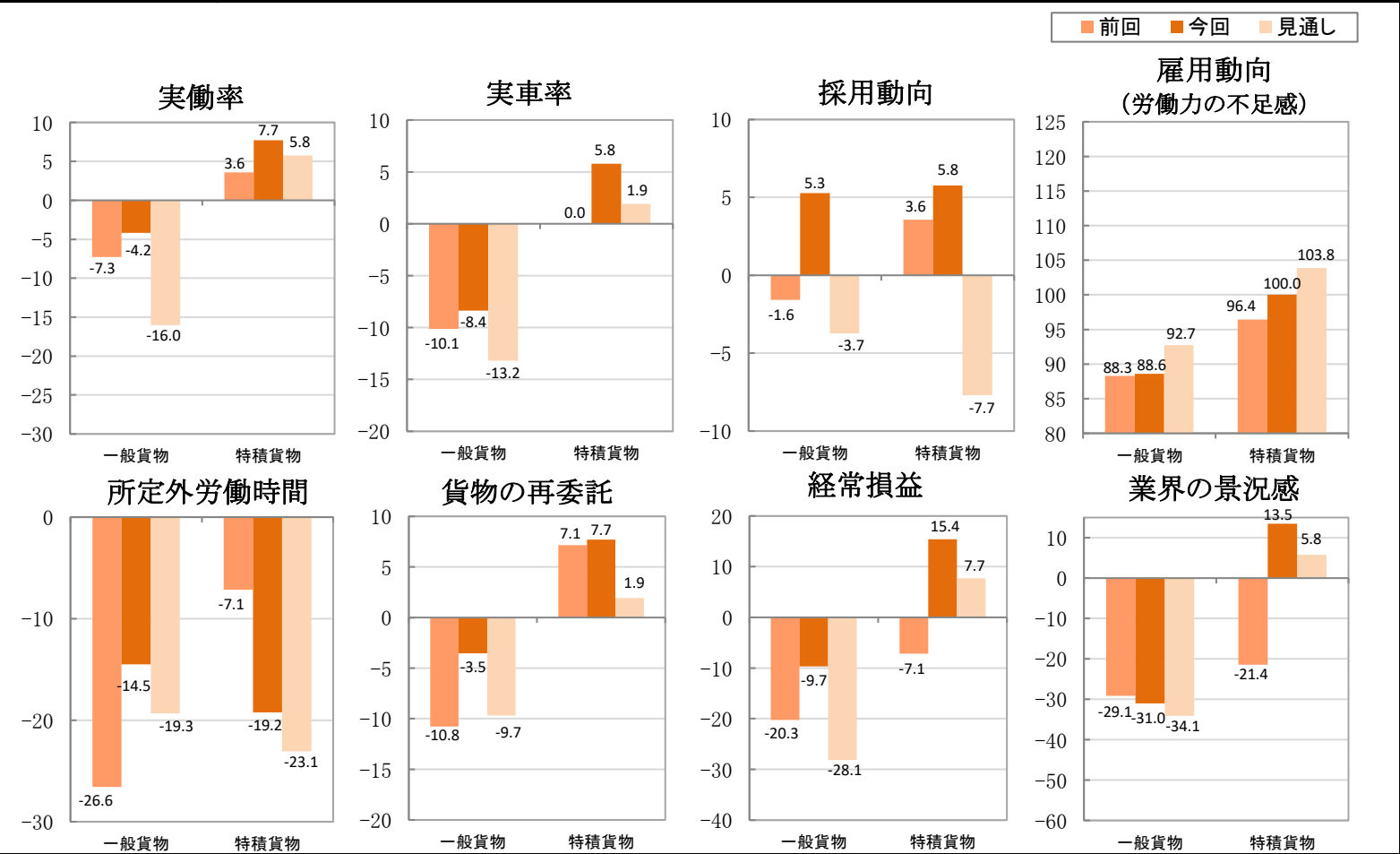
(注6) 品目別分類
 消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など
 建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など
 機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など
 その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど
 品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

7 事業者特性別の特徴②:地域別・事業形態別 業界の景況感等

地域 (注7)	・ 今期改善したのは、北海道、関東、北陸信越、四国であり、悪化は東北、中部、近畿、中国、九州である。 ・ 来期見通しは、北海道、関東、北陸信越、中部、四国、九州で悪化、東北、近畿で改善、中国は横ばい の見通しである。
------------	--



事業形態別 (注8)	・ 雇用動向(労働力の不足感):一般貨物は88.6(見通し92.7)、特積貨物は100.0(見通し103.8)。 ・ 経常損益:一般貨物は▲9.7(見通し▲28.1)、特積貨物は15.4(見通し7.7)。 ・ 業界の景況感:一般貨物は▲31.0(見通し▲34.1)、特積貨物は13.5(見通し5.8)。
---------------	---

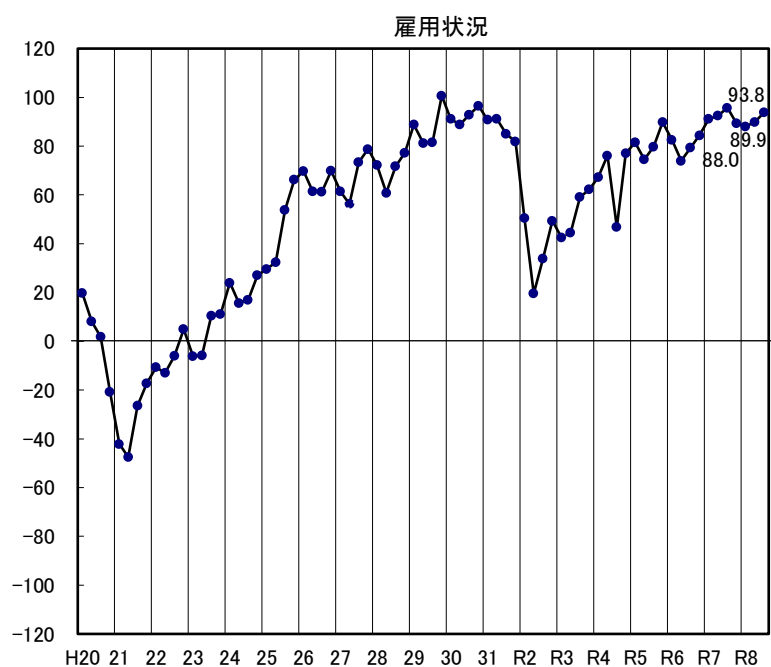
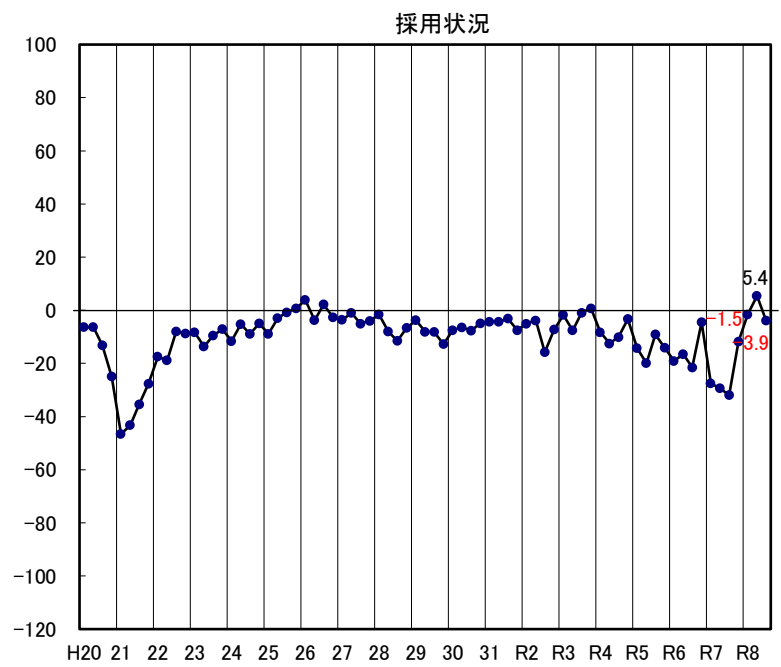
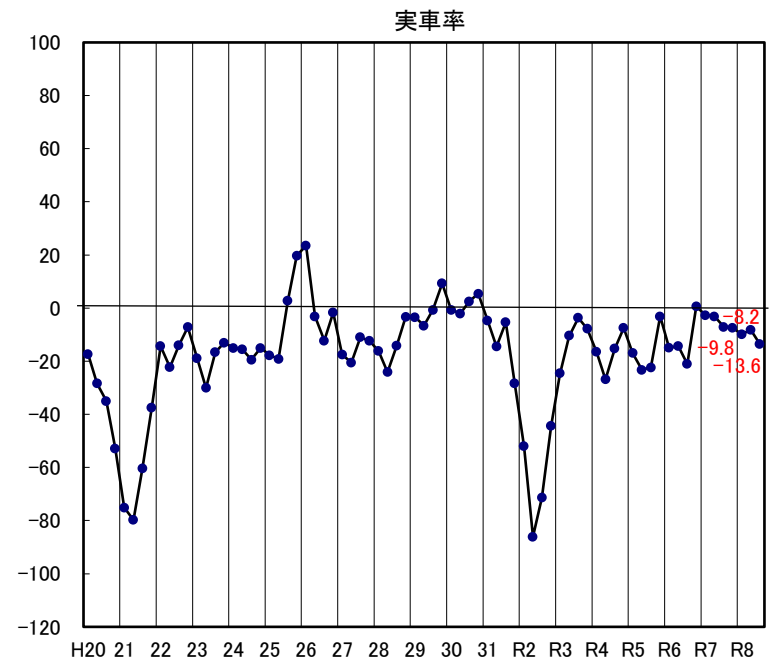
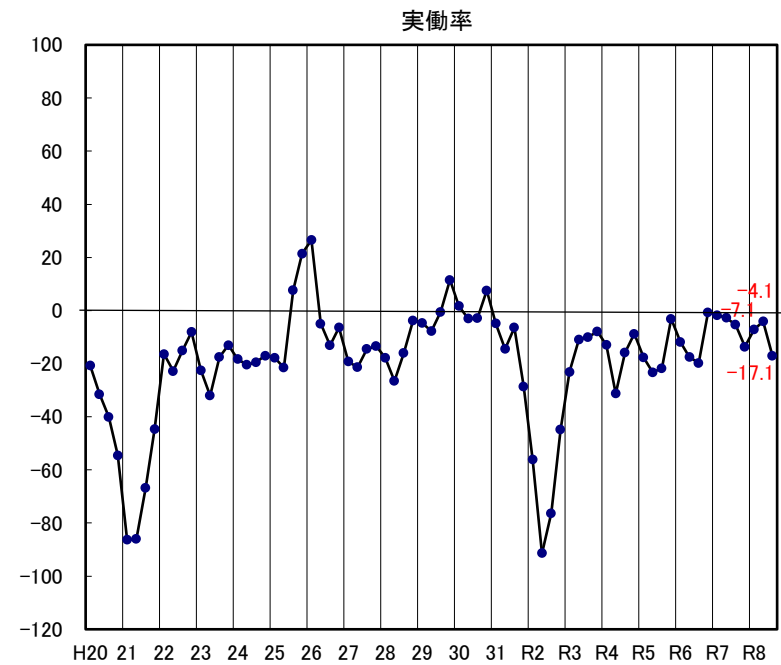


(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「特積貨物」である。

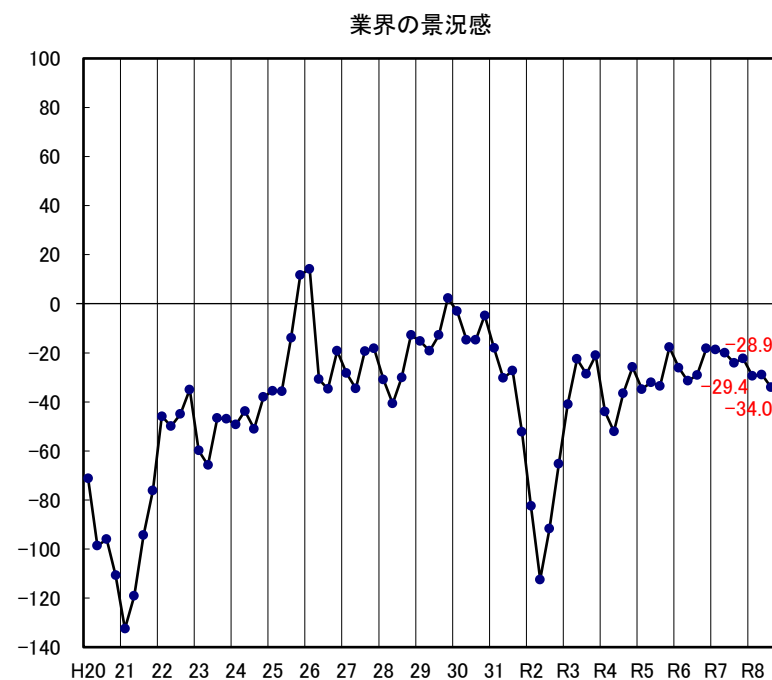
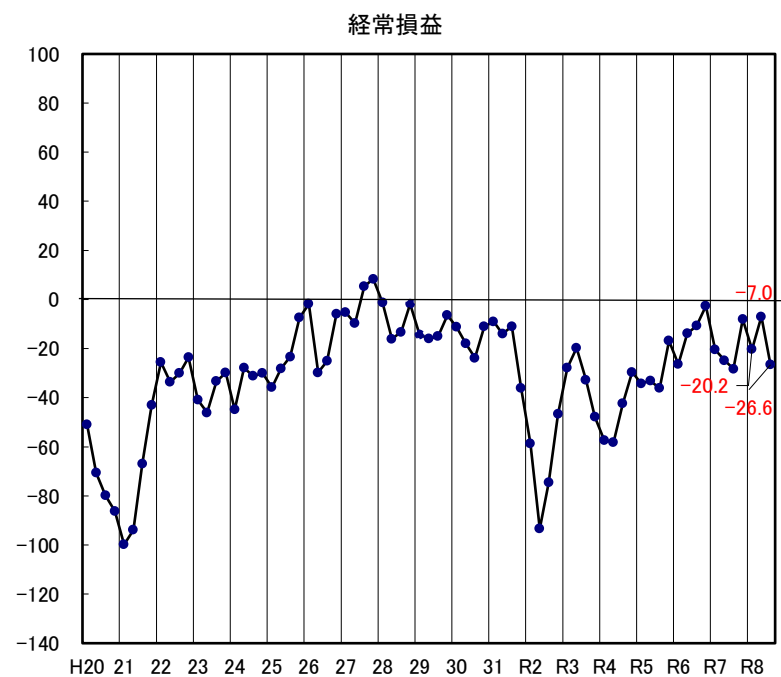
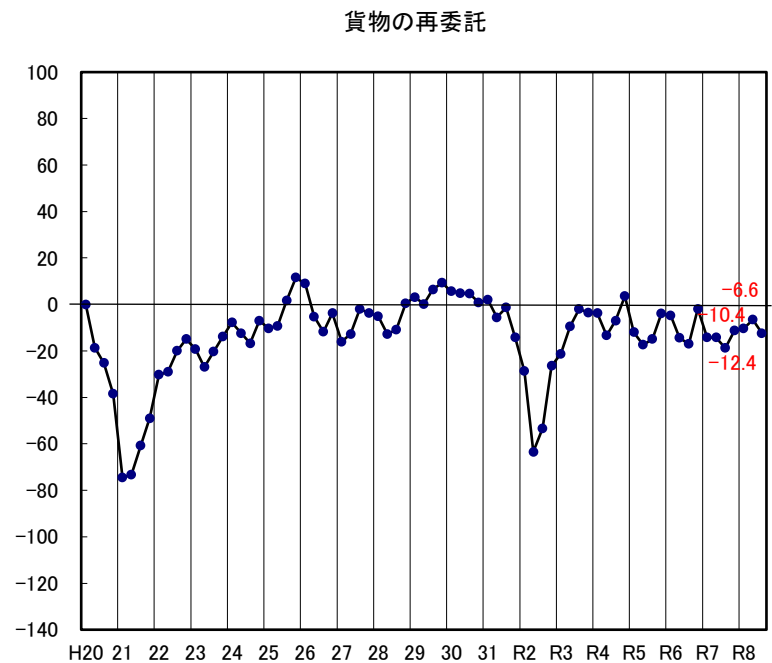
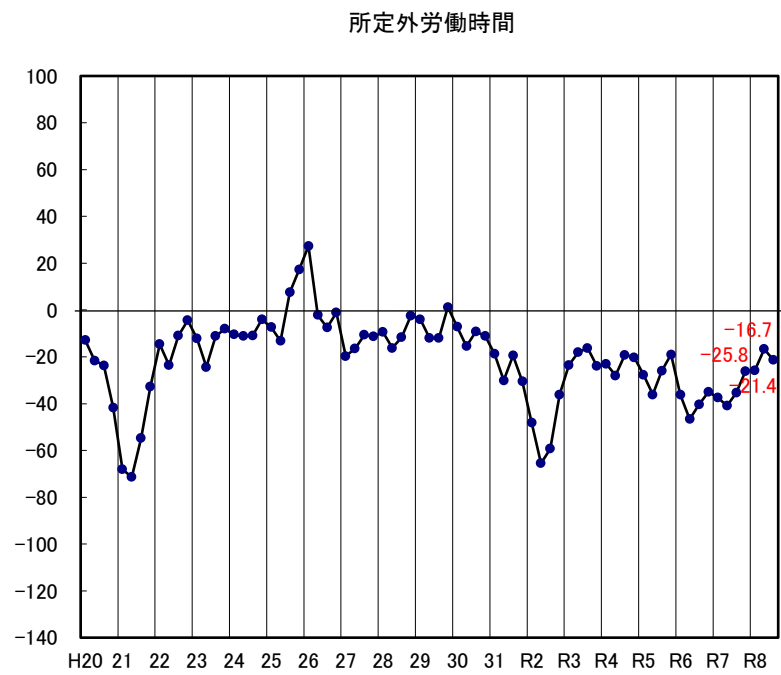
8 業況判断指標の推移(平成20年度～令和8年度第2四半期見通し)

共通の概況①



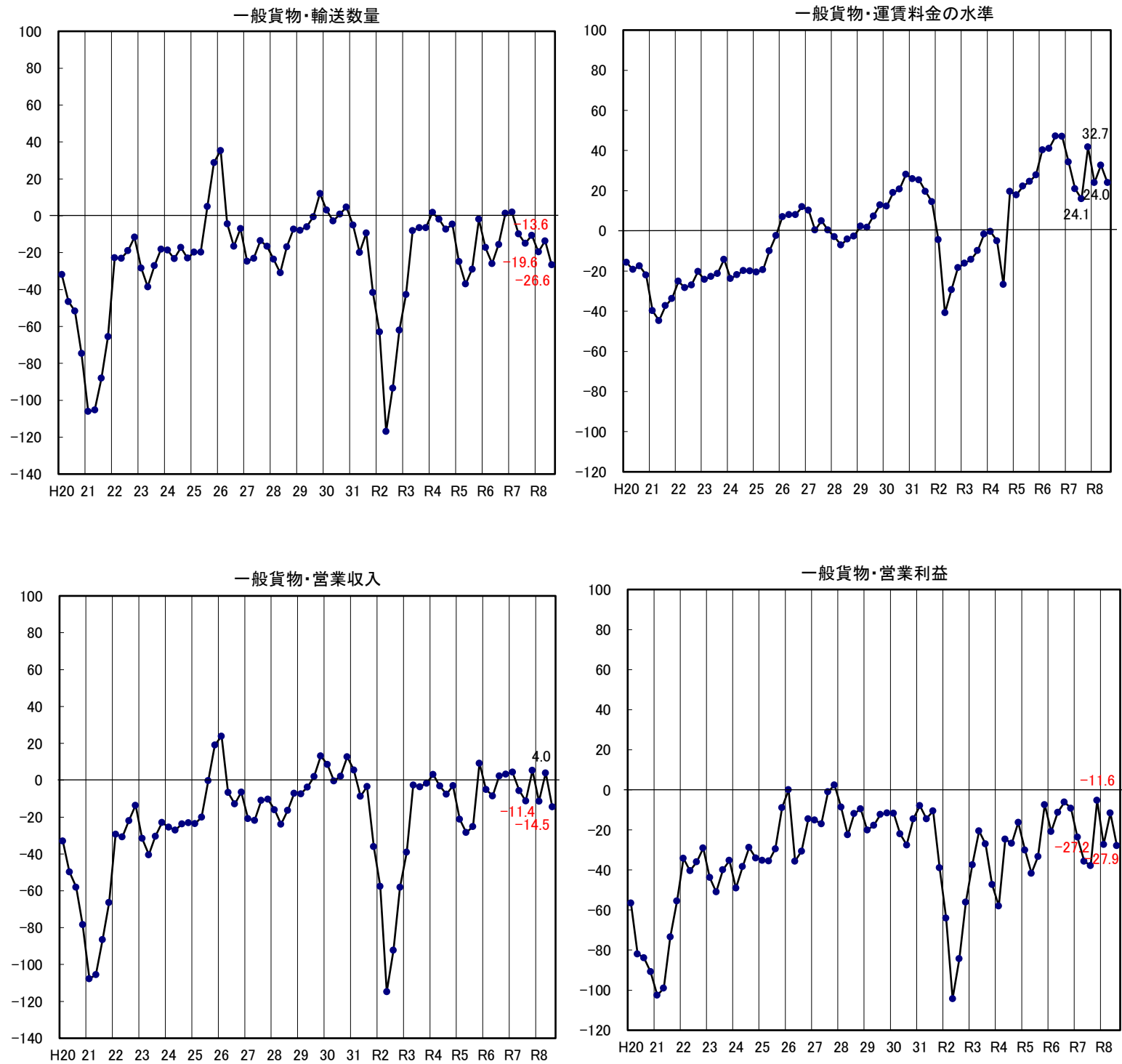
8 業況判断指標の推移(平成20年度～令和8年度第2四半期見通し)

共通の概況②



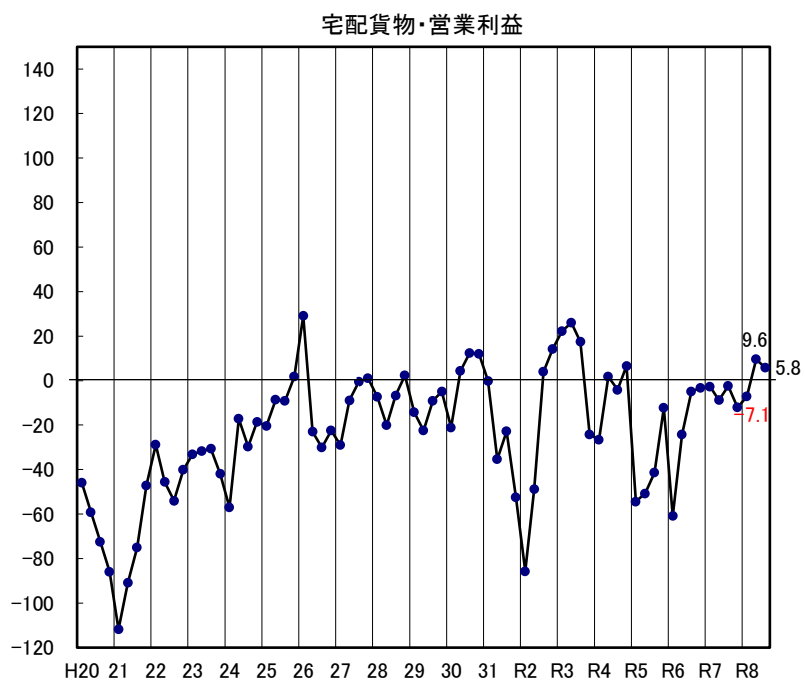
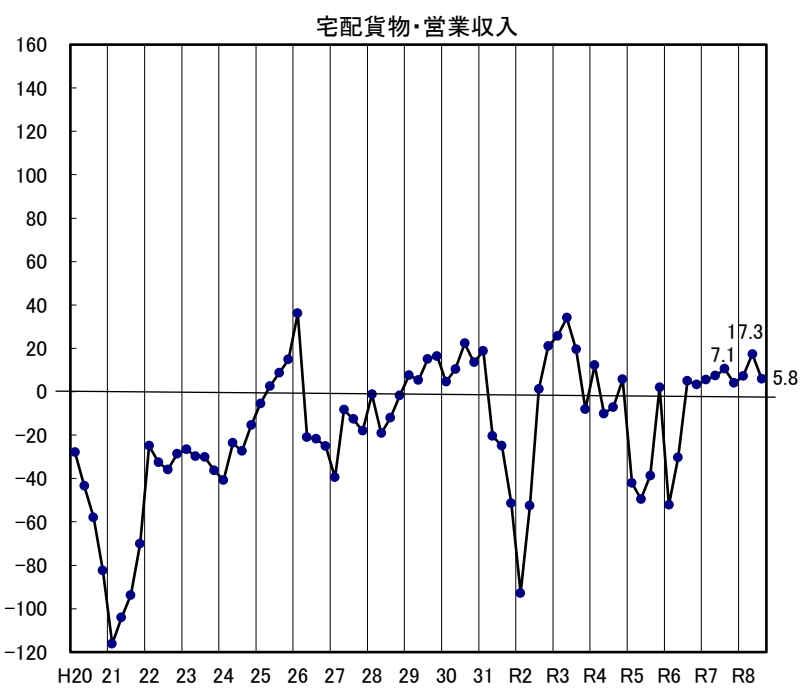
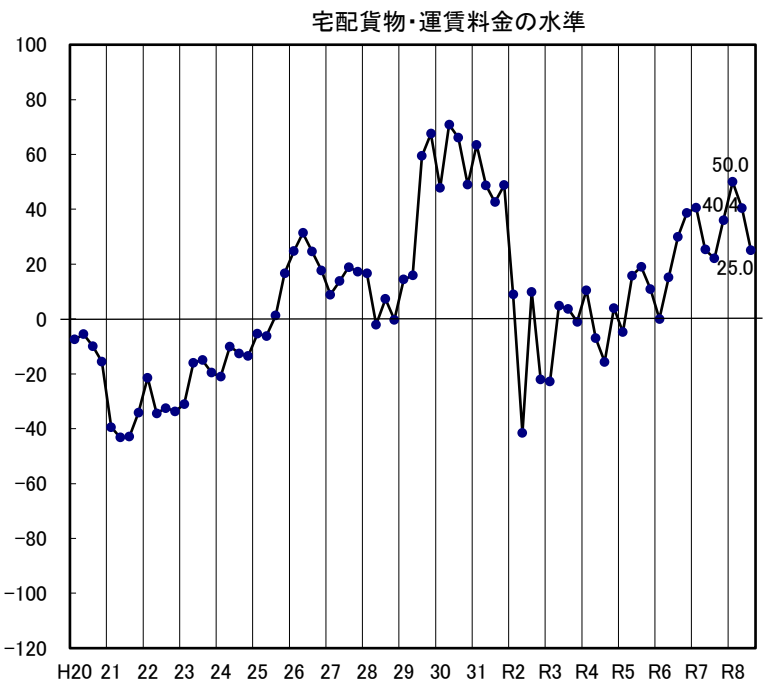
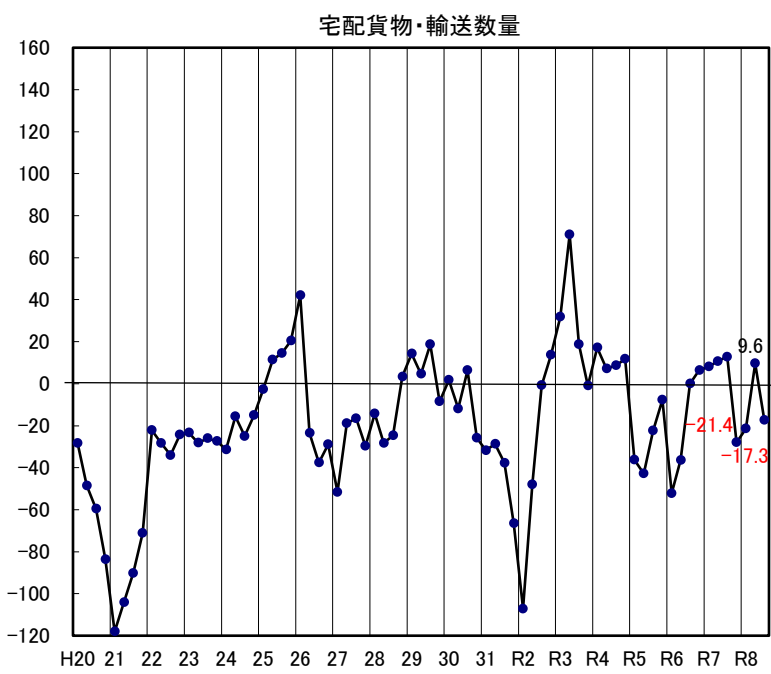
8 業況判断指標の推移(平成20年度～令和8年度第2四半期見通し)

一般貨物



8 業況判断指標の推移(平成20年度～令和8年度第2四半期見通し)

特積貨物



※ 特積貨物として「宅配貨物」及び「宅配以外の貨物」を統合